



教育目標
 明るく思いやりのある子(きよく)
 進んで学ぶ子(かしこく)
 健康でねばり強い子(たくましく)

2学期の音読集会

11月27日(火)2学期の音読集会を体育館で実施しました。音読集会は、基礎タイムの時間に取り組んでいる音読の成果を発表しあうことをねらいとし、学期に1回、年間3回開催する予定です。

2学期の音読集会は、1年生の「いちからはじめる」の音読からスタートしました。大きな口を開けて、大きな声を出す1年生。作者 谷川俊太郎 独特のいんをふむ言葉のリズムを楽しむような、堂々とした姿でした。

2年生は、大きくて元気な声で「雨音」と「てんとうむし」を音読しました。

3年生は、大きな声とはっきりとした言葉で「我が輩は猫である」を音読しました。全員が夏目漱石の世界に浸っているようでした。

4年生は落語「そろそろ」の世界観を楽しむかのように、座布団をひき、正座しての演出でした。登場人物を意識して、話し方が工夫されているのが、4年生らしく思える音読でした。

5年生は「古典を楽しむ」ということで、「竹取物語、平家物語、方丈記、学問のすずめ」を音読し、歴史的な仮名遣いに気を付けながら、古典の言葉のもつ響きをかみ締めながら音読してくれました。

最後の6年生は夏目漱石の「草枕」を真剣なまなざしで、堂々と声をそろえて音読してくれました。立つ姿勢、お辞儀の仕方等、マナーが素晴らしく、下級生の見本となるような音読でした。

学期に一度しかない音読集会ですが、とても素敵な時間でした。幼稚園児は、お兄ちゃん、お姉ちゃんの音読をくいいるようにして、あこがれのまなざしで聞き入っていました。

各学年の音読教材と音読のねらい

学 年	音読教材	音読のねらい
1年	いちからはじめる	間をとりながら、ゆっくり音読する
2年	雨音、てんとうむし	音の強弱に気を付けながら、はっきりと伝わるように音読する
3年	我が輩は猫である	大きな声ではっきりと音読する
4年	そろそろ	場面や人物の様子を想像して音読する
5年	「古典」を楽しむ	歴史的なかなづかいに気を付けて、リズムよく音読する
6年	草枕	文章の意味を考えて、声をそろえて音読する



写真1 1年生

写真2 2年生

写真3 3年生



写真4 4年生



写真5 5年生



写真6 6年生